

陳 情 文 書 表

<p>受 理 番 号 ・ 受 理 年 月 日 及 び 件 名</p>	<p>陳情第124号（4. 2. 10） 接種の有益性を上回る有害性が明白なmRNAワクチンの無期限凍結を求 める陳情</p>
<p>陳 情 の 要 旨</p>	<p>1. 接種の有益性を上回る有害性が明白なmRNAワクチンを無期限凍結 とすること。 2. 凍結しない場合は、接種の有益性が有害性を上回る具体的な根拠 と裏付けデータの明示及びワクチン添付文書記載の不利益事実を接種 希望者・家族に事前説明すること。</p>
<p>陳 情 者 の 住 所 及 び 氏 名</p>	<p>神戸市西区 新型コロナを学ぶ会 池 田 真 奈</p>
<p>送 付 委 員 会</p>	<p>福祉環境委員会</p>

2022年2月10日

神戸市会議長あて
陳情者 新型コロナを学ぶ会
住所 〒 兵庫県神戸市西区
氏名 池田真奈
(電話番号)

接種の有益性を上回る有害性が明白なmRNAワクチン無期限凍結に関する陳情

陳情趣旨

オミクロン株より数世代以前のコロナ株対策に開発されたmRNAワクチン（感染予防効果がないことが明らかになった現在は重症化予防効果を期待して使用されている特例承認ワクチン全般。以下、ワクチンと表記）の有効性は、日本よりはるかに陽性率が高い海外治験において、絶対リスク減少率（接種者と非接種者の発症率の差）1%程度である。

反面、程度・期間ともに計り知れない有害性が実証され続けており、ワクチン添付文書には「予防効果の持続期間は確立していない」上に「劇薬」（毒性が強く、副作用の発現率が高い医薬品）と明記されている。また、ウィルス学や免疫学、ワクチン開発者を含む専門家や日本弁護士連合会も人体への中長期の有害性に関して、強く警告している。

ワクチン接種医ないし看護師、保健所所長をはじめ保健行政を担う者の中で、既に指摘されているワクチンの有害な作用機序（抗体依存性感染増強、血栓形成、免疫抑制、抗原原罪など）や最先端の専門知識（ワクチン接種に起因する病状の診断法及び治療法など）を有し、接種希望者に推奨・説明・接種している者は何割いるのでしょうか。

専門職すら理解が困難な情報によってしか判断できない医療行為の結果責任を市民に負わせる行為は市民の健康維持・増進を目的とする保健行政の名に値しないと考える。

よって、以下の事項について陳情します。

陳情事項

- 1、接種の有益性を上回る有害性が明白なmRNAワクチンの無期限凍結
- 2、凍結しない場合は、接種の有益性が有害性を上回る具体的な根拠と裏付けデータの明示及び添付文書記載の不利益事実を接種希望者・家族に事前説明すること

ワクチン